

令和7年度第2回学校運営協議会議事録

さいたま市立三室小学校

- 1 日時・場所 [日時] 令和7年10月23日(木) 13:15～15:00
[場所] 3階 発見の森(高学年用図書室)

- 2 出席者
出席13名、欠席1名

3 次第

- (1) 会長挨拶
- (2) 学校長挨拶
- (3) 行政説明「放課後子ども居場所事業について」
- (4) 学校運営の中間報告について
 - ・児童会の取組について
 - ・児童、教職員の状況について
 - ・学校課題研究について
 - ・学校行事等の様子について
- (5) 熟議「子どもたちが『喜んで登校』できる学校づくりのために」
- (6) 事務連絡

4 議事概要

- (1) 行政説明「放課後子ども居場所事業について」
さいたま市の「放課後子ども居場所事業について」、所管課より説明を行った。委員からは、以下のとおり質問が上がった。

- 現在の公設児童クラブは廃止となるのか。民営の学童についても廃止か。
→公設の児童クラブについては廃止し、新たな放課後児童対策として本事業を実施していく。民営の学童については廃止ではない。利用者のニーズに合わせて、両輪で取り組んでいく。
- 全学校で実施するのか。
→全学校での実施は予定していない。さいたま市内で、待機児童の数などを見ながら事業を展開している。
- 事業者の選定はどのようにしているのか。
→実績や経験のある事業者から選定している。
- 区分2で、19時以降帰宅する児童の下校はどのようなになるのか。
→保護者の迎えとなる。

(2) 学校運営の状況について

- ① 前期運営委員会委員長、副委員長の児童より、いじめ撲滅に向けて作成した動画や、ハイタッチあいさつ運動、ペアスタンプラリーなど、児童会を中心とした取組について説明を行った。
- ② 教頭より、児童・教職員の状況、学校課題研究の取組、学校行事等の様子について説明を行った。

(3) 熟議「子どもたちが『喜んで登校』できる学校づくりのためにできること
教頭より、各学年、抽出1学級を対象に行った児童の実態調査の結果とその考察、令和7年度のいじめ、長期欠席の状況について報告を行った。

前期の学校運営の状況及び前述の報告内容をベースとし、子どもたちが「喜んで登校」できる学校づくりのために、学校、家庭、地域でできることについて熟議を行った。

- ・第1回の運営協議会際に、子どもが「満足して下校」はできているが「喜んで登校」はできていないのではないという話をしたが、今、子どもが「喜んで登校」できている。夏休みの宿題をきっかけに、子どもが学校での学びが自分の生活につながっていることを実感できた結果だと思う。また、クラスみんなで考え、得手不得手を生かしてみんなで作りあげる学級活動など、イベントごとが子どもたちの楽しみにつながっている。
- ・登下校に心配を感じている児童について、持ち帰りの荷物の重さも関係あるのではないかと。荷物を置いていくことについて、学校ではどのような約束になっているか。
→学校に置いていってよい物について子どもたちに示しているが、あらためて各学級で確認していく。
- ・朝、旗振りの当番などをしていても、あいさつが返ってこないことが多い。あいさつは自分の為でもあるので、学校でも引き続き指導をお願いしたい。
- ・いじめの問題について、何がいじめかということが分からない子どもが多いのではないかと。子どもに実体験がない場合、ドラマから学んだり親の実体験を聴いたりするのもよいのではないかと。
- ・いじめ撲滅のための子どもたちの取組は大変素晴らしく、応援したい。
- ・休みの多い子どもの中には、本人も理由が分からないことが多くある。学校が安心できる場所になっているかが大切。家庭も学校も、安心して過ごせるあたたかい雰囲気をつくっていく必要がある。

- ・児童会で取り組んでいる、「ハイタッチあいさつ運動」は素晴らしいと感じる。長期欠席の児童の内、家庭の事情などの場合は別だが、何か不安がある、なんとなく休んでしまっているという児童については、学校でみんなが待っていることが登校のきっかけになるのではないかな。これからも続けてほしい。
- ・不登校についての研究調査などを見ると、無気力が最大の原因となっている。クラス対抗の行事など、何か「やりたいな」と思うことがあると、登校意欲につながるのではないかな。
- ・地域において、朝から子どものことを怒鳴っているようなケースがあるようだが、「喜んで登校」にはつながらないと思う。
- ・「自分発見チャレンジupさいたま」の三室小学校版があってもよいのではないかな。自己肯定感、自己有用感が高まると思う。
- ・積極的に挨拶をする子が増えてきた。また、車が来たときに、止まって待つことができる班も見られるようになった。
- ・挨拶は家庭のしつけでもある。家庭での挨拶が大事なのではないかな。
- ・登校指導などで教員が見守りをしていると、子どもたちの挨拶が増える。自分とのかかわりが深いほど、挨拶が増えるのではないかな。
- ・毎日繰り返すとできるようになってくるので、家庭でも、繰り返し挨拶をするようにしている。地域や学校、家庭でも言い続けていくことが大切。
- ・11月3日（月）に三室小学校校庭で三室ふれあい祭り開催される。こうした機会を通して、地域と学校とのコンタクトを密接にして、素晴らしい三室小学校をつくっていきたい。

（３）事務連絡

- ・令和７年度学校評価について
- ・学校行事、地域行事について
- ・令和８年度の教育課程について
- ・第３回学校運営協議会について

５ 次回開催予定〔日時〕 令和８年 ２月５日（木） １３：１５～１５：００
〔場所〕 ３階発見の森（高学年図書室）